「事業改善会議」の進め方

資料１

「事業仕分け」の基本的な仕組みを活用して、財源活用事業の評価と改善に向けた当部会の意見を取りまとめます。

（１）「事業仕分け」について

自治体が提供する行政サービス等について、市民の目線で必要性や事務の進め方を議論し（評価）、**現状における問題点や今後のあり方を考える（改善）ための仕組み**です。

行政サービス等の向上のため、多くの自治体で導入され、木津川市でも実施しています。

（２）「事業改善会議」の結果の活用

「事業改善会議」の結果や指摘事項は、今後の財源活用事業の改善に活用するため、市長に提言します。

木津川市では、これまでから**「事業仕分け」の結果に基づいて行政サービス等の改善に取り組んだ実績がある**ことから、財源活用事業の改善に役立つことが期待できます。

（３）「事業改善会議」の基本的な仕組み

①　参加者

・廃棄物減量等推進審議会　評価部会委員
（コーディネーター【部会長】、仕分け人【委員】
・市職員（説明者）

②　仕分け作業の流れ

事業説明
○ 市職員が、事業の概要を説明します。
⇒ 事業の進捗、実績、課題など
《５分程度》

質疑・議論
● 委員から市職員へ質問
● 委員による議論
⇒ 目的・手段・実施主体の妥当性、事業の効果・効率性など
○ 市職員の議論を踏まえた所見
《１０分程度》

仕分け作業シート記入
● 委員が、各自「仕分け作業シート」に記入
⇒ **「仕分け区分」**を選択し、理由・改善点の詳細等を記入
《５分程度》

まとめ
● 「仕分け区分」を多数決で決定
● 委員からコメント
● 部会長が結果を総括
《５分程度》

【具体的な仕分け作業】※ 各事業について、次の考え方で仕分けの結果を整理します。

《仕分け区分と考え方》

スタート！

現在の事業

必要か否か

手数料の収益で実施することを前提に、この事業がなくなっても問題がない。

自身にとってではなく、対象者の立場で！

（１）不要

※事業の廃止を提言します。

必　　要

改善の要否

実施方法や事業効果などの観点から、改善すべき。

（２）手数料を財源に実施（内容・規模等を改善）

※ 改善点を提言します。

現在の内容（規模・方法等）で実施すべき。

（３）現行どおり実施

※ 継続実施を提言します。

最終的に、多数決で下記の３つの区分に“仕分け”します。
「（２）」に該当した場合、改善するべき事項を取りまとめます。

ひ な 型

■仕分け作業シート

記入者		記入日	年　　月　　日

事業番号		事業名	

仕分け区分	理由等（複数選択可）		
（１）不要	①実施する妥当性がない	②目的の達成手段として不適当	③効果がない・薄い
	④他の事業と重複している	⑤手数料で実施する役割が終了	
	⑦その他 （　　）		
（２）手数料を財源に実施（内容･規模等を改善）	①利用者ニーズの再把握が必要	②事業内容の抜本的見直しが必要	③事業規模の縮小が必要
	④事業規模の拡大が必要	⑤事務処理の効率化を図るべき	⑥利用者で財源確保を努力すべき
	⑦補助額・率を引き下げるべき	⑧補助額・率を引き上げるべき	⑨数値目標や終期設定が必要
	⑩その他 （　　）		
（３）現行どおり実施	①現行どおり進めることが望ましい		

理由補足・助言詳細
【自由記述】

記 入 例

1 まず、委員氏名を記入してください。

■仕分け作業シート

記入者	委　員　氏　名	記入日	令和５年１１月６日
事業番号	1	事業名	防鳥用ネット無償貸与事業

仕分け区分	理由等（複数選択可）		
（1）不要	①実施する妥当性がない	②目的の	い・薄い
	④他の事業と手数料している	⑤手数料で実施する役割が終了	
	（　　）		
（2）手数料を財源に実施（内容・規模等を改善）	①利用者ニーズの再把握が必要	②事業内容の抜本的見直しが必要	③事業規模の縮小が必要
	④事業規模の拡大が必要	⑤事務処理の効率化を図るべき	⑥利用者で財源確保を努力すべき
	⑦補助額・率を引き下げるべき	⑧補助額・率を引き上げるべき	⑨数値目標や終期設定が必要
	⑩その他 （　　）		
（3）現行どおり実施	①現行どおり進めることが望ましい		

2 次に、「仕分け区分」を選択します。

3 次に、「理由」を選択します。

理由補足・助言詳細
【自由記述】 これまでの実績から、今後３年間程度の在庫を保有しているため、貸与品の購入を縮小し、在庫数の適正化を図ることが望ましい。

4 最後に、特に補則すべき内容があれば記述します。